

# 幼稚園の園舎環境と子どもが関わる相手

## —園舎建替と時期による影響の検討—

大島みずき (群馬大学)

キーワード：幼児, 仲間関係, 園舎環境

### 問題と目的

幼児期に誰と関わるかは、彼らが生活する環境に大きく影響を受ける。幼稚園に通う幼児にとって最も大きい環境である園舎は、幼児が関わる相手に影響するのだろうか。本研究では、園舎建替が行われる園において、幼児が関わる相手を調べることで、保育内容の違いを加味せずに、園舎形態の違いについて検証を行う。また、夏と秋の二期に渡り調査を行うことで、時期の影響も合わせて検討していく。

### 方法

**調査対象園** 20XX 年に園舎の建替が行われた幼稚園 (園舎イメージ図 Figure 1)。旧園舎は全ての保育室が園庭に面しており、年中と年長保育室は普段は使用できない遊戯室を挟み離れた位置に配置されている。新園舎は壁のないプレイルームを中心に年中・年長の保育室が配置されている。年中の保育室は園庭に面していない。

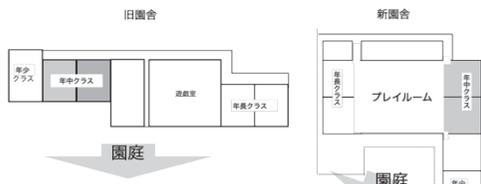


Figure1 園舎図(イメージ)

**調査対象者** 園舎建替前後の年中児, 夏秋ともに 12 名。夏と秋については基本的には同一の人物を対象とした (園の都合により建替後は夏と秋で保育者と相談の上 1 名の対象児を変更した)。

**調査内容** 幼児の登園直後から約 90 分 (min77 分) 間の活動 (主に自由に遊ぶ場面) をビデオカメラで記録した。記録場面について 30 秒ごとに、同じクラスの幼児, 隣のクラスの幼児, 年長児, 年少児, 担任保育者, 担任保育者以外の大人との関わりの有無をチェックした。仮説を知らない大学生によりランダムに選択した 6 名について同様のチェックを行い, 調査者との間の一致率を算出した ( $\kappa = .67 \sim .92$ )。

### 結果と考察

それぞれの相手との関わった回数について 2 要因 (建替前後  $\times$  夏  $\cdot$  秋) の分散分析を行った。  
**同年齢との関わり** 対象児と同じクラス, 隣のクラスの幼児との関わりが見られた回数 (Table 1)

については、同じクラスの幼児との関わりには有意な交互作用が見られ、新園舎においては秋よりも夏の方が同じクラスの幼児との関わりが多いことがわかった。

**異年齢との関わり** 対象児と年長児, 年少児との関わりが見られた回数 (Table 2) については、新園舎の夏に年長児との関わりが多いことが示された。映像からも夏は年中時児が保育室前のプレイルームで遊ぶ機会も多く、同じ空間で遊ぶ年長児と関わる様子が多く見られた。

**大人との関わり** 対象児と担任保育者, 担任保育者以外の大人との関わりについては (Table 3), 担任保育者は新園舎時の方が幼児との関わりが多く、夏よりも秋に幼児との関わりが多かった。一方、担任保育者以外の大人については、夏よりも秋の方が幼児との関わりが多かった。新園舎の年中保育室は園庭に向いていないため、目視での園児の姿の確認が難しく、そのため担任保育者が幼児と実際に関わるが多くなったことが考えられる。

Table 1 同年齢との関わりが見られた回数の平均値及び標準偏差

	同じクラスの幼児		隣のクラスの幼児	
	夏	秋	夏	秋
旧園舎	105.9 (34.88)	119.4 (23.03)	13.7 (25.39)	11.3 (11.27)
新園舎	124.6 (36.27)	97.5 (39.96)	23.8 (39.52)	3.8 (6.38)
時期	F(1,44)=.03, n.s.		F(1,44)=.03, n.s.	
季節	F(1,44)=.49, n.s.		F(1,44)=2.52, n.s.	
時期 $\times$ 季節	F(1,44)=4.37, p<.05		F(1,44)=1.58, n.s.	

Table 2 異年齢との関わりが見られた回数の平均値及び標準偏差

	年長児		年少児	
	夏	秋	夏	秋
旧園舎	1.8 (3.44)	3.3 (7.05)	1.8 (4.41)	3.4 (6.67)
新園舎	7.4 (8.23)	1.3 (2.53)	2.4 (4.52)	5.3 (5.35)
時期	F(1,44)=1.14, n.s.		F(1,44)=.02, n.s.	
季節	F(1,44)=1.86, n.s.		F(1,44)=.62, n.s.	
時期 $\times$ 季節	F(1,44)=5.31, p<.05		F(1,44)=.06, n.s.	

Table 3 教師との関わりが見られた回数の平均値及び標準偏差

	担任保育者		担任保育者以外の大人	
	夏	秋	夏	秋
旧園舎	9.3 (6.62)	19.1 (12.85)	8.6 (6.11)	5.8 (5.96)
新園舎	16.8 (15.76)	32.8 (28.83)	12.4 (15.44)	5.7 (6.99)
時期	F(1,44)=4.17, p<.05		F(1,44)=.47, n.s.	
季節	F(1,44)=6.22, p<.05		F(1,44)=3.06, p<.10	
時期 $\times$ 季節	F(1,44)=.37, n.s.		F(1,44)=.51, n.s.	

### 付記

本研究の実施にあたり JSPS 科学研究費の助成を受けた (18K13103)